

## 第2章 「あゆむ」子育て・教育



メタセコイア並木



## あゆむ 子育て・教育

誕生から高齢期まで人生を「あゆみ」たくなるまちづくり

人生はよく道に例えられます。人はそれぞれの道をあゆみ、また新しい命が生まれ、やがてはその世代がまた道をあゆみはじめます。

子育て・教育分野におけるまちづくりは、人生を「道」に例えました。

高島市で生まれた、また高島市を選んだ人々が、このまちで人生をあゆみたくなるまちづくりに取り組みます。

# [施策体系]

## 施策項目1 魅力ある子育て・教育環境を整えます P.2-4

**方針1 結婚や出産の希望が叶う支援体制を整えます**  
P.2-6

- 施策① 総合相談窓口による子育て支援体制整備
- 施策② 妊娠・出産における経済的な支援の充実
- 施策③ 医療費の助成による子育て支援
- 施策④ 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制

**方針2 生きる力を育む乳幼児保育・教育環境を整えます**  
P.2-8

- 施策① 安全で質の高い乳幼児保育・教育環境整備
- 施策② 支援内容の多様化による保育体制の充実
- 施策③ 経済的な負担軽減による子育て環境の充実

**方針3 家庭の姿に寄り添う子育て支援を行います**  
P.2-10

- 施策① 仕事と育児が両立できる子育て環境の整備
- 施策② 障がい児やその家庭への切れ目ない支援
- 施策③ 児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応

**方針4 安全・安心で快適な学校教育環境を整えます**  
P.2-12

- 施策① 施設改修による安全快適な学校施設の整備
- 施策② 組織的な体制強化によるいじめの未然防止
- 施策③ 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進
- 施策④ 不登校児童・生徒やその家庭への支援

## 施策項目2 郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します P.2-14

**方針1 自然や人とのふれあいによる保育・教育を推進します**  
P.2-16

- 施策① 乳幼児保育・教育共通カリキュラムの推進
- 施策② 高島の恵みを活用した乳幼児の食育の推進
- 施策③ 乳幼児保育・教育への地域支援体制の構築

**方針2 地域の魅力が学べる小学校・中学校教育を推進します**  
P.2-18

- 施策① 生きる力を育む小中一貫教育の推進
- 施策② ICT環境の充実による学習意欲の向上
- 施策③ 地域に根ざした教育による郷土愛の育成
- 施策④ 高島産食材を活用した学校給食の推進

**方針3 地域全体で青少年を育む体制を整えます**  
P.2-20

- 施策① 生きる力を育む家庭教育力の向上
- 施策② 地域活動との連携による課外活動等の支援
- 施策③ 地域と連携した青少年を育む活動の充実
- 施策④ 高校と連携したキャリア教育の推進

**方針4 地域を知り地域に学ぶ機会をつくります**  
P.2-22

- 施策① 歴史・文化の情報発信と次世代への継承
- 施策② 郷土の先人に学ぶ心の教育の推進
- 施策③ 主体的に行動できる地域人材の育成
- 施策④ 生涯学習のニーズに応える図書館運営

基本構想  
産業・経済  
子育て・教育  
健康・福祉  
暮らし・文化  
生活基盤  
行政経営

施策項目

1

魅力ある子育て・教育環境を整えます

◆ 基本的な考え方

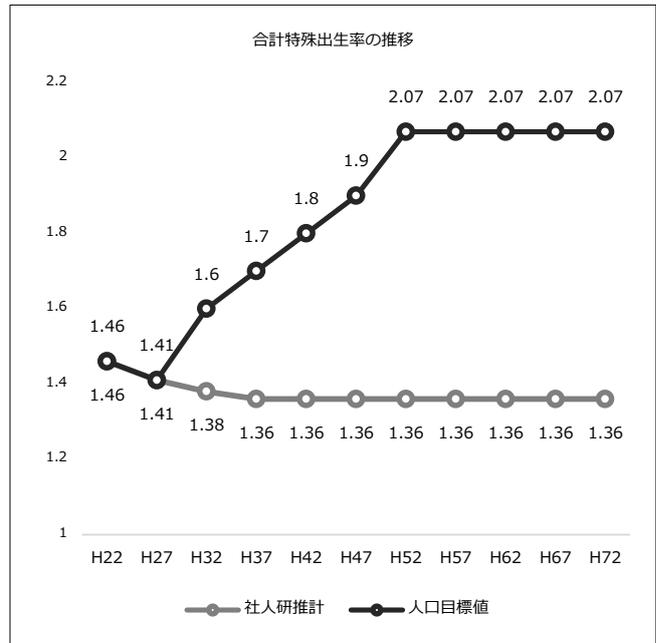
第1次高島市総合計画においては、児童福祉の充実と子育て支援の推進、学校教育の充実などに取り組んできました。

市民アンケートの満足度調査では、児童福祉の充実と子育て支援の推進については、満足、やや満足をあわせて52.7%で、総合的にみると満足度はやや高い項目となっています。

しかし、出生数が伸び悩む中、人口減少の中にあっても将来の人口バランスの安定化を図るためには、一定の出生数を維持していく必要があります。

また、子育て環境の魅力化は、子育て世代の定住・移住に直結することから、自然環境とあわせた子育て支援の充実を図る必要があります。

このことから、子育て世代の満足度をさらに高めるとともに、仕事との両立や子育てに関する不安解消を図る体制整備に取り組めます。



出典：まち・ひと・しごと創生総合戦略

◆ 政策間連携の視点

子育て環境を充実させることと仕事における子育てへの理解の促進を図ることは、子育てをしながら経済的基盤や望むキャリアを実現するためには両輪で考える必要があります。また、男性の育児参加の推進や、子育てに困難を抱える家庭への支援、医療体制の構築や通学路の安全確保など、子どもを中心とした各機関の連携による総合的な子育て環境を構築するとともに、子育て環境の魅力を伝え定住・移住につなげていく取り組みも必要です。

第1章

「かもす」産業・経済

- ✓ 出産や育児休暇などが取得しやすい労働環境の構築
- ✓ 短時間勤務など労働形態の多様化による育児と仕事の両立

第3章

「つむぐ」健康・福祉

- ✓ 小児医療の充実
- ✓ 障がい児とその家庭への支援
- ✓ 妊娠・出産・子育てに困難を抱える家庭への支援

第4章

「せせらく」暮らし・文化

- ✓ 子育て環境のPRによる定住・移住の促進
- ✓ 男性の育児参加の推進

第5章

「ささえる」暮らし・文化

- ✓ 通学路の安全確保や通学手段の確保



## ◆ 市民協働の視点

第2次高島市総合計画の策定にあたり実施した、市民ワークショップや市民アンケート調査、団体ヒアリングなどの意見を、施策の推進にあたっての「市民協働の視点」としてまとめました。

### 個人でできること

- ◆ 学童保育の運営に直接的に協力し、保育者と多くコミュニケーションをとる
- ◆ 子どもの情報を提供する
- ◆ ファミリーサポートセンター（支援制度）を積極的に活用する
- ◆ 相談相手になる
- ◆ 障がいについての正しい知識と個別性を理解する

### 地域でできること

- ◆ 学童保育事業に協力・支援し、交流を持つ
- ◆ 地域で情報を共有する
- ◆ 出産の経験や子どもの大切さが話し合える場を設ける
- ◆ 地域内の子ども達と仲良くする
- ◆ スポーツ少年団と連携して子育てサポートをする
- ◆ 相談の会を設け、話し合いの場を提供する
- ◆ 地域が障がいのある子どものサポーターとなり、養護学校の活動などに参加・協力する
- ◆ 障がいのある子も参加しやすい行事を増やす



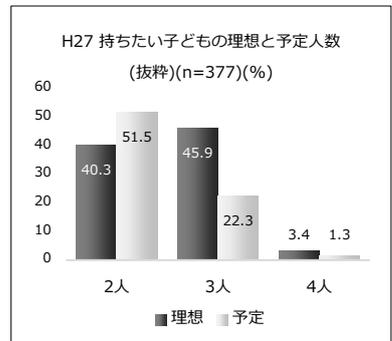
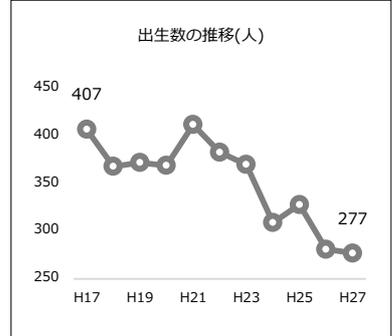
学童保育の様子

施策項目  
1

方針 1 結婚や出産の希望が叶う支援体制を整えます

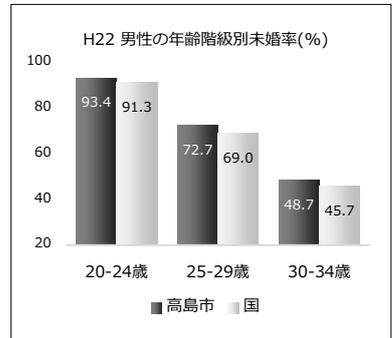
現状

- 年間の出生数は、平成17年は407人でしたが、平成27年は277人と年々減少傾向にあります。  
\*出典：人口動態統計（あくしよんぷらん）、住民基本台帳（高島市統計書）
- 第2次総合計画策定のための市民アンケート調査で、独身の方に独身でいる理由を聞いたところ「結婚したい相手がいないから」が32.8%、次いで「異性との出会いの場がないから」が31.3%となっています。
- 第2次総合計画策定のための市民アンケート調査で、理想の子ども的人数と持つ予定の子ども的人数を聞いたところ、理想で3人と回答した割合が45.9%であったのに対し、持つ予定で3人と回答した割合は22.3%と、理想と現実に差があります。
- 市内20歳から39歳までの未婚率は上昇を続けており、特に平成22年における男性の20歳から34歳までの未婚率は全国水準を上回っています。 \*出典：国勢調査



課題

- 結婚・出産・子育てに関する情報を得やすい環境を整え、結婚や出産の希望が叶う体制整備が必要です。
- 出産や子育てに関わる経済的な負担の不安を払拭し、安心して子育てに臨むことができる環境を整えることが必要です。



1 総合相談窓口による子育て支援体制整備

結婚や出産・子育てに関わる情報を提供・発信する総合相談窓口を設置し、婚姻数の増加や出生数の増加を図ります。

めざす姿 年間婚姻数（人口動態統計）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
171件					150件					150件

関連個別計画 ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしよん・ぷらん

実行部門 健康福祉部

連携施策 P.4-8,9 男女共同参画

主な取り組み内容

- ・ 結婚に関する情報提供の推進
- ・ 婚活事業への支援の拡充
- ・ 子育て支援情報の発信の充実
- ・ 地域子育て支援センターとの連携
- ・ 子育て親子つどいの広場との連携
- ◆ 出会いから子育てまでの支援事業

## 2 妊娠・出産における経済的な支援の充実

妊婦健康診査への助成や不妊症・不育症の治療助成など家庭への経済的な支援を充実し、妊娠・出産・子育ての希望が叶う体制を整えます。

### 主な取り組み内容

- ・ 妊婦健診助成の推進
- ・ 不妊症、不育症治療助成の推進
- ◆ 出会いから子育てまでの支援事業

### めざす姿

年間出生数（人口動態統計）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
277 人					300 人					300 人

### 関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん

### 実行部門

健康福祉部

## 3 医療費の助成による子育て支援

子どもに係る医療費を助成し子育て世代の経済的負担を軽減することで、安心して子育てできる環境を整えます。

### 主な取り組み内容

- ◆ 子ども医療費助成事業

### めざす姿

年間出生数（人口動態統計）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
277 人					300 人					300 人

### 関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん

### 実行部門

健康福祉部

連携施策

P.3-20,21 医療

## 4 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制

保健師などによる妊婦相談や新生児訪問を実施し切れ目のない相談・見守り体制を維持し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整えます。

### 主な取り組み内容

- ・ 保健師等による新生児全数訪問の実施
- ・ 乳幼児健康診査・相談・離乳食教室の開催
- ・ 医療機関との連携体制の構築
- ◆ 出会いから子育てまでの支援事業

### めざす姿

年間出生数（人口動態統計）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
277 人					300 人					300 人

### 関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん

### 実行部門

健康福祉部

連携施策

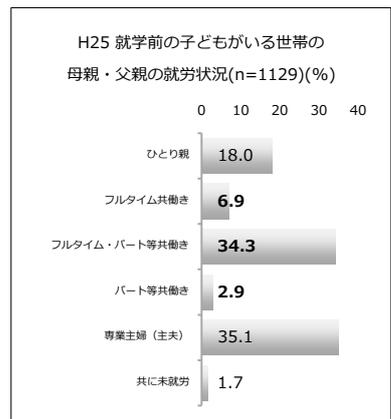
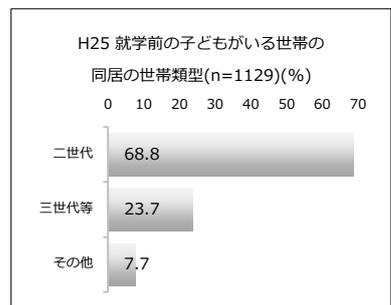
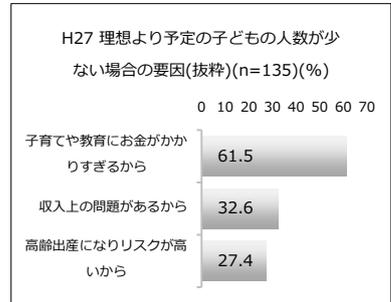
P.4-8,9 男女共同参画

施策項目  
1

方針 2 生きる力を育む乳幼児保育・教育環境を整えます

現状

- 第2次総合計画策定のための市民アンケート調査によると、理想より最終的に持つ子どもの人数が少ないと回答した人に、妨げになっている原因を聞いたところ「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が61.5%と最多で、次いで「収入上の問題があるから」が32.6%となっており、子育てに対する経済的負担感が大きくなっています。
- 子ども・子育て支援に関するニーズ調査によると、就学前の子どもがいる家庭において、同居の世帯類型が「二世帯」と答えた世帯は68.8%となっています。また、母親と父親の就労状況について、フルタイム・パートに関わらず共働きであると答えた世帯は44.1%となっています。
- 子ども・子育て支援に関するニーズ調査によると、就学前の子どもがいる家庭において、フルタイムで就労している母親の75.1%、父親の88.2%が18時以降に帰宅すると答えています。



課題

- 希望する人数の子どもを持つために、子育てに対する経済的負担を軽減し、希望が叶えられる子育て環境を整える必要があります。
- 乳幼児保育・幼児教育環境を向上させるとともに、多様化する保育のニーズに応じた保育体制を整える必要があります。
- 乳幼児期に必要なあそび体験をプログラムできる人材の育成を行う必要があります。

1 安全で質の高い乳幼児保育・教育環境整備

乳幼児保育・教育共通カリキュラムの研修や施設の計画的な改修を行い、保育者の資質向上を図るとともに、安全で質の高い保育・教育環境を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 共通カリキュラムの推進のための研修会の実施、研修内容の充実
- ・ 計画的な施設の改修
- ◆ 幼・保、小、中の連携による教育力強化事業

めざす姿

乳幼児保育・教育共通カリキュラムの理解度（研修会機会時の職員アンケート調査）

現状(なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
基礎調査					↑					↑

関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん、教育大綱

実行部門

健康福祉部

## 2 支援内容の多様化による保育体制の充実

一時預かり、延長保育、低年齢児保育および休日保育など多様化する保育ニーズへの対応を行い、必要なときに利用できる保育体制を整えます。

### 主な取り組み内容

- ・ 多様な子ども・子育て支援の充実
- ・ 一時預かりの充実
- ・ 延長保育の充実
- ・ 休日保育の充実

### めざす姿

年間出生数（人口動態調査）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
277 人					300 人					300 人

### 関連個別計画

子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん

### 実行部門

健康福祉部

連携施策

P.4-8,9 男女共同参画

## 3 経済的な負担軽減による子育て環境の充実

保育料の水準を国基準の概ね50%を維持するとともに、所得などの制限なく保育料を第2子を半額・第3子以降を無料化し、魅力ある子育て環境を整えます。

### 主な取り組み内容

- ・ 保育料の軽減の継続
- ・ 通園バスや給食の無料化の推進
- ◆ 保育園・幼稚園運営事業

### めざす姿

年間出生数（人口動態調査）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
277 人					300 人					300 人

### 関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん

### 実行部門

健康福祉部



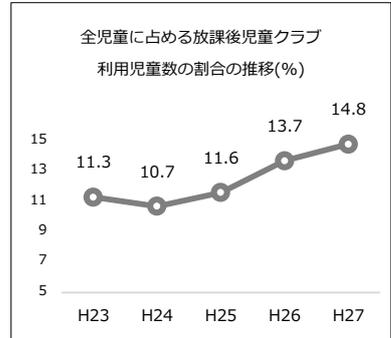
保育の様子

施策項目  
1

方針3 家庭の姿に寄り添う子育て支援を行います

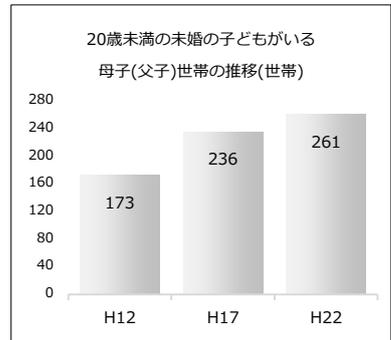
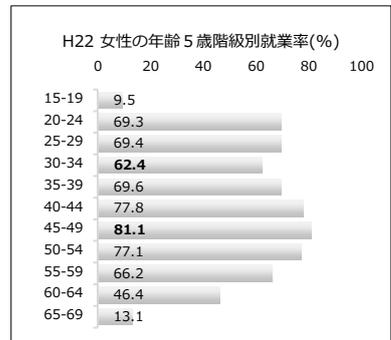
現状

- 放課後児童クラブ（学童保育）を利用している児童数の全児童に占める割合は、全体児童数の減少に関わらず増加傾向にあります。 \*出典：高島市統計書
- 平成22年度における女性の就業率をみると、概ね小学生までの子育て期間中であると推察される30～34歳における就業率が20～29歳や35～59歳よりも低くなっています。また、40～49歳が最も高く、これは全国や滋賀県の就業率を上回っています。 \*出典：国勢調査
- 平成12年に173世帯であった20歳未満の未婚の子どもがいる母子（父子）世帯は、平成22年には261世帯に増加しています。 \*出典：国勢調査



課題

- ひとり親や就労形態など多様化する家庭の姿を認識し、子育てに必要な経済的な基盤を確立しながら安心して子育てできる環境を整える必要があります。
- 障がいのある子どもやその親が、地域で安心して生活し、将来を見据えて自立に向かうことができる環境を整える必要があります。
- 児童虐待を未然に防止するため、子育て支援の充実や相談体制の充実を図るとともに、深刻な事態を避けるため、地域ぐるみでの見守り・関わりにより早期発見・早期対応を図る必要があります。



1 仕事と育児が両立できる子育て環境の整備

仕事をしながら子育てを行うための支援制度を充実し、安定した就労と育児が両立できる子育て環境を整えます。

主な取り組み内容

- ・ ひとり親家庭の支援の充実
- ・ 病児保育の利用促進
- ◆ 放課後児童健全育成事業
- ◆ ファミリーサポートセンター事業
- ◆ 保育園・幼稚園運営事業

めざす姿

子どもを育てるにあたっての不安が「仕事との両立」と回答した人の割合（子ども・子育て支援に関するニーズ調査）

現状(なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
基礎調査					↓					↓

関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん

実行部門

健康福祉部

## 2 障がい児やその家庭への切れ目ない支援

障がいのある乳幼児・児童が安定した環境で生活できる体制を整えるとともに、就労までの切れ目のない支援体制を構築し、地域で生活し自立できる環境を整えます。

### 主な取り組み内容

- ・ カンガルー教室の適正な運営
- ・ こども園、保育園、幼稚園の受け入れ体制整備
- ・ 相談窓口と地域支援体制の整備

**めざす姿** カンガルー教室通所人数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
39人					100人					100人

**関連個別計画** 障がい者計画、障がい福祉計画

**実行部門** 健康福祉部

連携施策

P.1-6,7 雇用環境

P.3-12,13 障がい者福祉

P.4-8,9 男女共同参画

## 3 児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応

児童虐待に関する啓発活動や研修会の開催、相談窓口の充実・周知により、児童虐待の未然防止を図るとともに早期発見・早期対応体制を構築します。

### 主な取り組み内容

- ・ 虐待防止に向けた啓発や研修会の充実
- ・ 面接や訪問、電話での相談や支援の充実
- ・ 相談体制の充実

**めざす姿** 児童虐待に関する相談延件数(年度実績)

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
9,828件					12,000件					13,000件

**関連個別計画** 子ども・子育て支援あくしょん・ぶらん

**実行部門** 健康福祉部



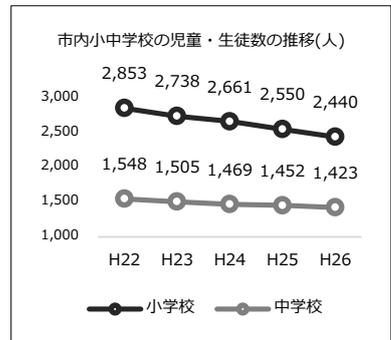
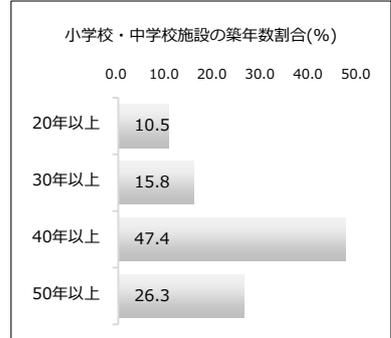
子育て支援センターの様子

施策項目  
1

方針4 安全・安心で快適な学校教育環境を整えます

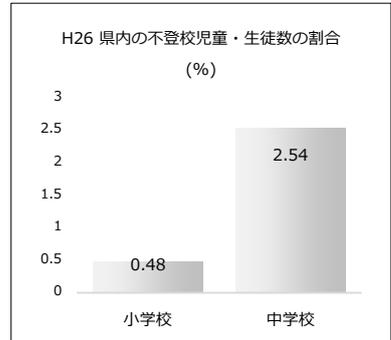
現状

- 市立小学校・中学校施設の築年数は、50年以上が26.3%、40年以上が47.4%となっており、老朽化が進んでいます。
- 市内小学校の児童数は年2～4%程度ずつ減少しており、市内中学校の生徒数は1～3%程度ずつ減少しています。
- 平成26年度における県内の全小学校児童のうち不登校児童数は0.48%、全中学校生徒のうち不登校生徒数は2.54%となっています。 \*出典：学校基本調査
- 平成27年度の市内の小・中学校における特別支援学級は31クラスで、78人が在籍しており、通常の学級においても配慮や支援を必要とする児童・生徒が見られます。  
\*出典：高島市教育委員会資料



課題

- 子どもは地域の宝であるという認識のもとに、すべての子どもにとって安全で快適に安心して学習できる学校環境を実現させるため、環境や体制の整備をすすめる必要があります。
- いじめを絶対許さないという意識を醸成し、いじめの未然防止を図ることはもちろん、初期段階のいじめを早期に認知し対応する組織体制をつくる必要があります。
- 不登校や発達障がいなどの理解を深めるとともに、子ども自身やその家族の支援を行う必要があります。



1 施設改修による安全快適な学校施設の整備

老朽化した学校施設の計画的な施設改修と、空調機器の整備やトイレ改修を行い、安全で快適な学校教育環境を整えます。

主な取り組み内容

- ・ 小学校大規模改修の実施
- ・ 中学校大規模改修の実施
- ・ 空調機器の整備
- ・ トイレ改修の実施

めざす姿

空調機器の整備完了率(上段)、トイレ改修の整備完了率(下段)(累計)

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
55.3%	100%				-					-
15.8%	47.4%				63.2%					78.9%

関連個別計画

教育大綱

実行部門

教育総務部

## 2 組織的な体制強化によるいじめの未然防止

学校・園・行政が連携し、いじめに対する組織体制を強化して、いじめの未然防止を図るとともに早期発見・早期対応を行います。

### 主な取り組み内容

- いじめ対策および未然防止のための取り組みの推進
- 専門家の配置による相談体制の充実
- 教員研修の充実

### めざす姿

いじめの状況が解消した割合（解消数／認知数、引き続き支援が必要なケースを除く）（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
94.1 %					100 %					100 %

### 関連個別計画

教育大綱

### 実行部門

教育指導部

連携施策

P.4-8,9 人権教育

## 3 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

特別支援教育支援員の派遣や教職員に指導助言を行う相談員の派遣などを行い、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援を行います。

### 主な取り組み内容

- 特別支援教育の推進
- 特別支援教育支援員の派遣
- 巡回相談体制の充実

### めざす姿

学校・園の職員や保護者に対する指導・助言の件数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
144 件					↑					↑

### 関連個別計画

教育大綱、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん

### 実行部門

教育指導部

連携施策

P.3-12,13 障がい者福祉

## 4 不登校児童・生徒やその家庭への支援

不登校児童・生徒やその家庭に相談や指導を行う窓口を設置し、学校復帰や社会的自立を図ります。

### 主な取り組み内容

- 教育支援センターにおける適応指導の充実
- 教育相談・課題対応室における相談活動の充実
- 別室登校児童生徒への支援の充実

### めざす姿

教育支援センター「スマイル」と教育相談・課題対応室の利用児童生徒で学校復帰を果たした人数の割合（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
59 %					↑					↑

### 関連個別計画

教育大綱

### 実行部門

教育指導部

施策項目

2

郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します

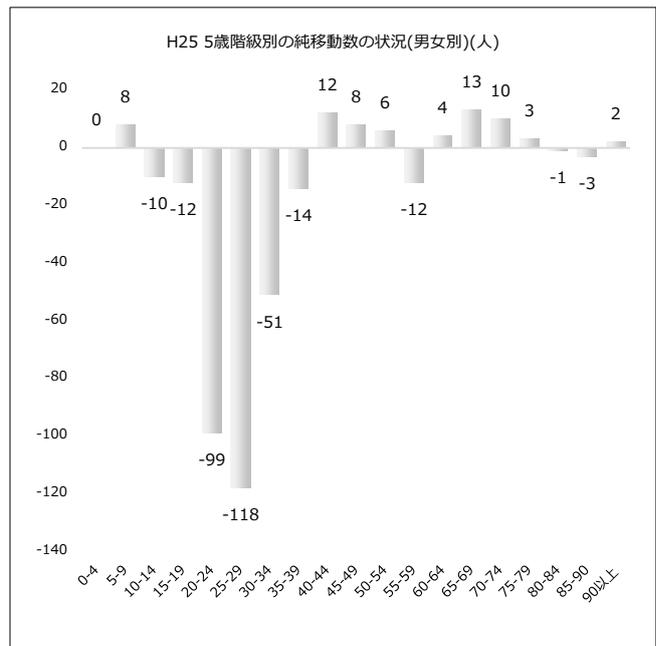
◆ 基本的な考え方

第1次高島市総合計画においては、幼児教育の充実や小中一貫教育の推進や地域に根ざした特色ある学校づくりなどに取り組んできました。

しかしながら、転出超過傾向が続いており、大学等へ進学するために市外に転出した人が、再び転入する動機を生み出せていない状況が推察されます。

これには産業・経済分野において、希望する雇用の場を確保するとともに、子育て・教育の分野においては、地域への愛着形成を図り、高島市で活躍したいと願う人材の育成を行う必要があります。また、自己実現のために市外に転出したとしても、高島市の魅力を伝えることができる学習機会が必要です。

このことから、乳幼児保育・教育から小学校、中学校、高等学校、社会教育までが相互に連携し、高島市に誇りと愛着を持って、たくましく育ち合える青少年や地域人材の育成に取り組みます。



出典：住民基本台帳人口移動報告(総務省)

◆ 政策間連携の視点

保育園、幼稚園、認定こども園、小学校や中学校および高等学校は地域の交流拠点であるとの認識のもと、望ましい教育のあり方を検討しながら、保護者だけではなく地域ぐるみで関わる仕組みと意識の向上が必要です。また、事業者との連携や、高齢者の知識や経験を活かす場所づくり、歴史や文化を学ぶための資料の活用など園・学校と地域社会との多様な関係づくりを構築し、子どもたちの生きる力を育む体制づくりが必要です。

第1章

「かもす」産業・経済

- ✓ 乳幼児保育・教育、小中学校、高校教育との連携
- ✓ 高島産食材の給食や料理教室などへの活用による食育推進

第3章

「つむぐ」健康・福祉

- ✓ 地域学習や体験学習などへ高齢者の活躍の場づくり

第4章

「せせらく」暮らし・文化

- ✓ 子育て環境のPRによる定住・移住の促進
- ✓ 地域での見守り活動の充実
- ✓ 歴史や伝統文化の継承および文化活動の推進によるつながりづくり



## ◆ 市民協働の視点

第2次高島市総合計画の策定にあたり実施した、市民ワークショップや市民アンケート調査、団体ヒアリングなどの意見を、施策の推進にあたっての「市民協働の視点」としてまとめました。

### 個人でできること

- ◆ 自治会活動や子ども会活動に積極的に参加する
- ◆ 学校行事や学習ボランティアに積極的に参加して教育現場に関わる
- ◆ これまでの経験を次の世代に伝える
- ◆ 子どもに高島産食材の安全性を伝える

### 地域でできること

- ◆ 地域の運動会や夏祭りなど、子どもが関わる行事を増やす
- ◆ 見守り隊などを結成して子どもを地域ぐるみで見守る
- ◆ 地域でスクールサポーターを充実させる
- ◆ 学校との連携を深め、生徒が地域に魅力を感じる取り組みを展開する



成人式の様子

施策項目  
2

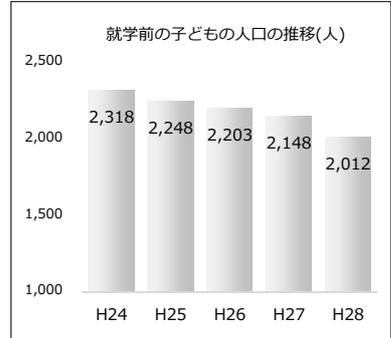
方針 1 自然や人とのふれあいによる保育・教育を推進します

現状

- 就学前の子どもの人口は、平成24年は2,318人でしたが、平成28年は2,012人と約86.7%に減少しています。

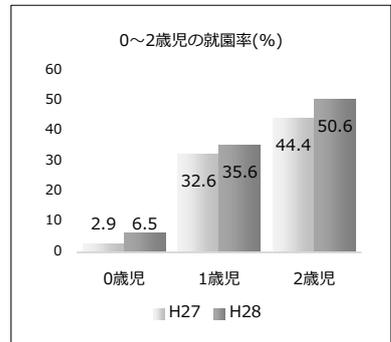
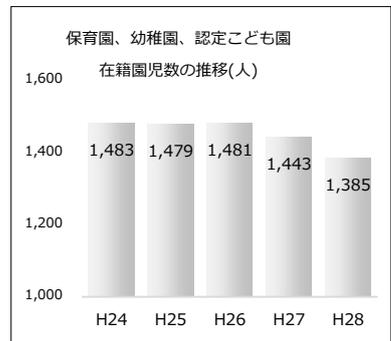
\*出典：住民基本台帳

- 市内の保育園、幼稚園、認定こども園に在籍する園児数は、平成24年は1,483人、平成28年は1,385人と減少傾向にありますが、0歳児から2歳児までの就園率は増加傾向にあります。



課題

- 子どもが興味・関心を持てるあそびの環境構成ができるよう、保育者の人材育成と保育・教育活動への支援体制を整える必要があります。
- 高島産の食材や発酵食を使った食育や、自然環境にある素材を活用した体験あそびなど、高島の良さを取り入れたカリキュラムの充実を図る必要があります。
- 子どもの数の減少により、あそびなどの活動における集団の規模が縮小してきているため、異年齢集団での保育や地域住民との交流を行う必要があります。



1 乳幼児保育・教育共通カリキュラムの推進

乳幼児保育・教育共通カリキュラムをもとに、自然にふれる遊びや異年齢・世代間の交流を取り入れ、地域環境を最大限に活用した保育・教育を推進します。

主な取り組み内容

- ・ 乳幼児保育・教育共通カリキュラムの推進
- ・ 乳幼児保育・教育内容の充実
- ・ あそびの環境の充実
- ◆ 幼・保、小、中の連携による教育力強化事業

めざす姿

乳幼児保育・教育の内容に対する保護者の満足度（子ども・子育て支援に関するニーズ調査）

現状(なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
基礎調査					↑					↑

関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん、教育大綱

実行部門

健康福祉部

## 2 高島の恵みを活用した乳幼児の食育の推進

高島の食文化にふれる体験ができる機会を設けて、乳幼児期からの望ましい食習慣や食の重要性を学び、乳幼児期の食への関心と地域への愛着を育みます。

### 主な取り組み内容

- ・ 乳幼児食育の推進
- ・ 発酵食品づくりなど体験活動の推進
- ◆ 幼・保、小、中の連携による教育力強化事業

### めざす姿

高島産食材の利用や発酵食品づくりなどによる食育体験活動に取り組む園の割合（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
58.8 %					100 %					100 %

### 関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん、教育大綱

### 実行部門

健康福祉部

### 連携施策

P.1-16,17 農林水産業

P.1-18,19 発酵ブランド

P.3-8,9 食育

## 3 乳幼児保育・教育への地域支援体制の構築

地域住民や児童・生徒・ボランティアや未就園児とその保護者など、多様な世代・多様な関わりによる地域ぐるみでの乳幼児保育・教育の支援体制を構築します。

### 主な取り組み内容

- ・ 地域支援体制の構築
- ・ 地域連携活動の推進
- ◆ 幼・保、小、中の連携による教育力強化事業

### めざす姿

園と小学校・中学校との交流事業延回数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
182 回					↑					↑

### 関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、子ども・子育て支援あくしょん・ぷらん

### 実行部門

健康福祉部

### 連携施策

P.3-10,11 高齢期生きがい

P.4-6,7 市民活動



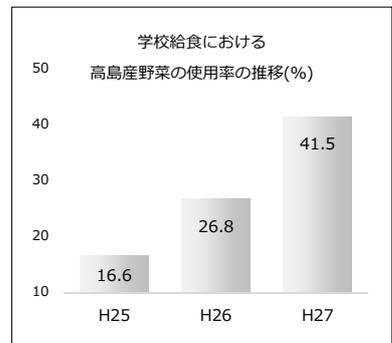
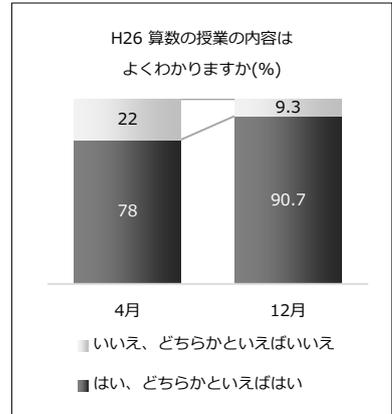
乳幼児食育の様子

施策項目  
**2**

方針 **2** 地域の魅力が学べる小学校・中学校教育を推進します

現状

- 小中一貫教育について、平成26年4月と12月に今津中学校区内の小学校で実施した小学生の教科担任制に関するアンケート調査によると「算数の授業の内容がよくわかる」と回答した児童が増加しました。 \*出典：高島市教育委員会資料
- 全国学力・学習状況調査では、小学生・中学生ともに「住んでいる地域の行事に参加している」と回答した割合が、全国的にも高い滋賀県内において、高島市は最も高くなっています。
- 学級数に対して、ICT機器の整備が十分でなく、活用場所などが限定されています。
- 学校給食における地元産野菜の重量ベースの使用率は、平成25年度は16.6%でしたが、平成27年度は41.5%となっており、24.9ポイント増加しています。 \*出典：高島市教育委員会資料



課題

- 小中一貫教育の効果を学力や体力の向上に結びつけるため、各学校の状況に応じた特色ある教育の推進を図る必要があります。
- 時代に応じた情報活用能力を育成するため、ICT機器の計画的な整備・更新を行うとともに、さまざまな学習場で効果的に活用するために、教員の指導力の向上を図ることが必要です。
- 地域の特色を活かした教育活動が、地域への愛着形成につながっているかどうかを評価し、さらに発展させる必要があります。
- 市外高等学校への進学が増えていることから、市内高等学校と連携し2校の魅力を伝える機会を持つ必要があります。

**1** 生きる力を育む小中一貫教育の推進

義務教育9年間を見通した系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行い、確かな学力と豊かな人間性・たくましい心身を育てます。

主な取り組み内容

- ・ 小中一貫教育の推進
- ・ 高等学校との連携
- ◆ 幼・保、小、中の連携による教育力強化事業

めざす姿 学習意欲（児童・生徒へのアンケート調査）

現状(なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
基礎調査					↑					↑

関連個別計画 ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育大綱

実行部門 教育指導部

## 2 ICT環境の充実による学習意欲の向上

ICT機器の計画的な整備や更新を行うとともに、効果的な活用に向けた指導力向上のための研修を実施し、児童生徒の学習意欲をより高めます。

### 主な取り組み内容

- ・ 情報教育整備事業の推進
- ・ ICT機器活用による授業改善
- ・ ICT活用能力向上のための研修
- ◆ 幼・保、小、中の連携による教育力強化事業

**めざす姿** 学習意欲（児童・生徒へのアンケート調査）

現状 (なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
基礎調査					↑					↑

**関連個別計画** ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育大綱

**実行部門** 教育指導部

## 3 地域に根ざした教育による郷土愛の育成

自然体験や歴史・文化・人物を学ぶ活動・職場体験など地域の特色を学ぶ教育を積極的に推進し、夢や希望を育むとともにふるさとを愛し守るこころを育てます。

### 主な取り組み内容

- ・ マ이스クール事業
- ・ 先覚の教えを学ぶ学習活動
- ・ 職場体験の実施
- ◆ 幼・保、小、中の連携による教育力強化事業

**めざす姿** 児童・生徒の地域への愛着度（児童・生徒へのアンケート調査）

現状 (なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
基礎調査					↑					↑

**関連個別計画** ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育大綱

**実行部門** 教育指導部

連携施策 P.1-14,15 地場産業 P.1-16,17 農林水産業 P.4-10,11 伝統文化 P.4-12,13 水環境

## 4 高島産食材を活用した学校給食の推進

高島産食材を使用した安全、安心な給食を提供するとともに、高島の特色と豊かさを活かした学校給食の充実と食育を推進します。

### 主な取り組み内容

- ・ 学校給食センターの運営
- ・ 食育の推進
- ・ アレルギー対応の継続

**めざす姿** 学校給食における高島産野菜の重量ベースでの使用率（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
41.5%					↑				45.0%	→

**関連個別計画** 教育大綱、農畜産業・水産業振興戦略プラン、食育推進計画

**実行部門** 教育総務部

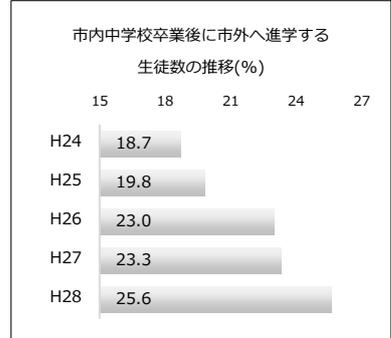
連携施策 P.1-16,17 農林水産業 P.1-18,19 発酵ブランド

施策項目  
2

方針3 地域全体で青少年を育む体制を整えます

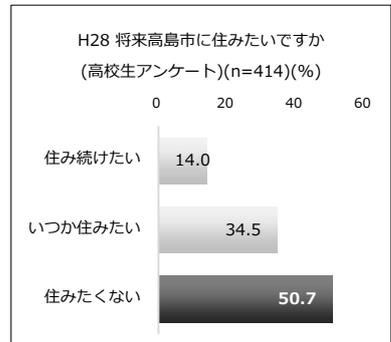
現状

- 市内中学校の生徒が卒業後、市外の学校へ進学する割合は、平成24年度では18.7%でしたが、平成28年度では25.6%に増加しています。 \*出典：高島市教育委員会資料
- 市内の中学校では在籍生徒数の規模によって4～13種の部活動が行われており、全体では90%以上の生徒がいずれかの部に所属して活動しています。 \*出典：高島市教育委員会資料
- 第2次総合計画のための高校生アンケート調査では、約半数の高校生が将来高島市に「住みたくない」と回答しています。



課題

- 教育の原点である家庭での教育や、地域と子どもの関わり合いを見直し、地域ぐるみで子どもを育てる環境をつくる必要があります。
- 地域ぐるみで青少年の活動を理解し、青少年の育成に参加できる支援や連携の体制づくりを行う必要があります。
- 青少年が地域とつながることで、家庭や学校だけではない見守りの中で成長し、将来は地域のリーダーとして活躍する人材を育成する必要があります。
- 地域への誇りを醸成するため、地域の活性化と教育力の向上を両立させる取り組みを行い、将来高島市で活躍したいと願う青少年を育てるとともに、その夢を叶える体制をつくる必要があります。
- 少子化や指導者不足により活動が困難になっている中学校の部活動について、地域活動との連携による維持を図る必要があります。



1 生きる力を育む家庭教育力の向上

家庭が子どもの生きる力を育む場として機能するよう、講座や研修会などを開催し、家庭の教育力の向上を図ります。

主な取り組み内容

- ・ 家庭教育の支援
- ・ 学習機会の提供

めざす姿

「学んだことを実践したい」と回答した割合（講座終了時の参加者アンケート）

現状(なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
基礎調査					↑					↑

関連個別計画 教育大綱

実行部門 教育総務部

## 2 地域活動との連携による課外活動等の支援

小中学校のクラブや部活動に地域の指導者を派遣するとともに、地域の活動団体の受け入れ体制の整備を推進し、専門的な指導が受けられる環境を整えます。

### 主な取り組み内容

- ・ スポーツ指導者の派遣
- ・ 地域活動団体の受け入れ体制の整備
- ・ 市内高校との連携

### めざす姿

中学校部活動へ派遣した指導者数（市調査、年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
3人					10人					↑

### 関連個別計画

教育大綱、スポーツ推進計画

### 実行部門

教育総務部

連携施策

P.3-6,7 スポーツ推進

P.4-10,11 文化振興

## 3 地域と連携した青少年を育む活動の充実

地域と連携した青少年の体験活動の推進や青少年活動の支援を行い、その活動を活性化させるとともに、青少年を地域全体で守り育てる活動を充実させます。

### 主な取り組み内容

- ・ 成人式の開催
- ・ 青少年体験活動の推進
- ・ 青少年活動の支援

### めざす姿

青少年活動の参加者（補助金交付団体等）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
2,384人					2,500人					3,000人

### 関連個別計画

教育大綱

### 実行部門

教育指導部

連携施策

P.4-6,7 市民活動

## 4 高校と連携したキャリア教育の推進

高校生が、高島市の自然環境や生産活動、事業活動など地域の魅力を学ぶ機会を設け、将来高島市と関わりを持って活躍する人材の育成を図ります。

### 主な取り組み内容

- ・ 高校でのキャリア教育の推進
- ・ 高校から大学、就職までの連携体制の構築
- ◆ 地域連携による高校生キャリアデザイン事業

### めざす姿

15歳から39歳までの社会増減（住民基本台帳）

現状 (H25)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
-500人	-400人	-300人	-150人	0人	→					→

### 関連個別計画

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 実行部門

市民生活部

連携施策

P.1-6,7 企業活動

P.1-8,9 農業

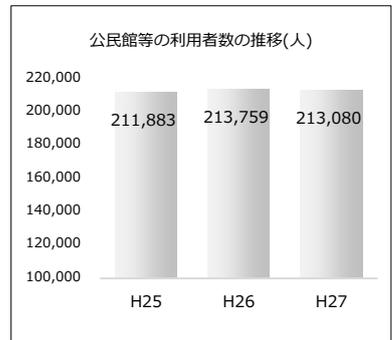
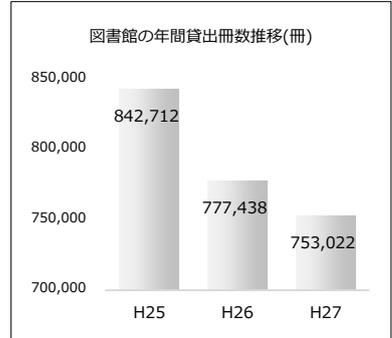
P.1-10,11 林水畜産業

施策項目  
2

方針4 地域を知り地域に学ぶ機会をつくります

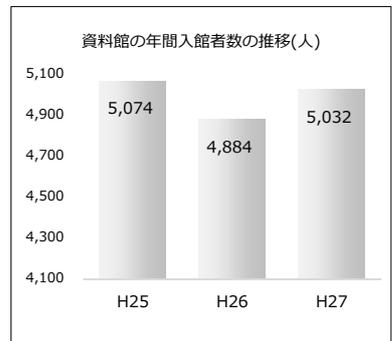
現状

- 高島市立図書館の一人当たりの年間貸出冊数は、平成26年度は14.1冊で、これは人口5万人以上6万人未満の市図書館において全国1位となっています。 \*出典：日本の図書館
- 公民館等で行われる教室等の数は、平成22年度の87教室から平成26年度は61教室に減少していますが、公民館の利用者数はほぼ横ばいで推移しています。 \*出典：高島市統計書
- 資料館の年間入館者数は、平成25年度から平成27年度まで5,000人前後と、ほぼ横ばいで推移しています。 \*出典：高島市統計書



課題

- 市民が生活に身近な学びや地域課題の解決に向けた学びを得る機会をつくり、その成果を生涯にわたって活用できる環境をつくる必要があります。
- 公民館は、社会教育の拠点施設として、地域の特色を活かした学習活動に取り組むほか、行政と地域、地域と地域をつなぐ拠点としても活用する必要があります。
- 文化財を活用し、歴史を学びルーツを知ることで、高島市への誇りを高める必要があります。



1 歴史・文化の情報発信と次世代への継承

歴史・文化・文化財を活用した講座や研修会などを開催するとともに資料館機能を充実させ、高島市の魅力を学ぶ機会を設けることで市民の誇りを高めます。

主な取り組み内容

- ・ 資料館の運営
- ・ 文化財の活用
- ・ 地域資料の整備

めざす姿

資料館の年間入館者数（年度実績）

現状(H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
5,032人					6,000人					6,500人

関連個別計画

教育大綱、文化振興基本計画

実行部門

教育総務部

## 2 郷土の先人に学ぶ心の教育の推進

中江藤樹先生をはじめ、高島市の先覚の教えである誠実さ、素朴さ、温かさ、粘り強さなどを学ぶことで、規範意識や思いやりの心を育てます。

### 主な取り組み内容

- ・ 中江藤樹記念館の運営
- ・ 先人顕彰団体への支援

### めざす姿

中江藤樹記念館の入館者数（年度実績）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
5,321 人					5,500 人					5,700 人

### 関連個別計画

教育大綱

### 実行部門

教育総務部

連携施策

P.4-8,9 人権教育

P.4-10,11 地域文化

## 3 主体的に行動できる地域人材の育成

社会教育関係団体の活動を支援するとともに、地域の自然や歴史、地域特性、地域課題の解決などを学ぶ機会を提供し、学びを社会に活かせる人材の育成を図ります。

### 主な取り組み内容

- ・ 社会教育関係団体の支援
- ・ 公民館の運営
- ・ 社会教育施設の運営

### めざす姿

「学んだことを地域で活かしたい」と回答した人の割合（講座終了時の参加者アンケート）

現状 (なし)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
					↑					↑
	基礎調査									

### 関連個別計画

教育大綱

### 実行部門

教育総務部

連携施策

P.4-6,7 市民活動

## 4 生涯学習のニーズに応える図書館運営

多様な資料の整備による学習支援や、市民が本や文化にふれる機会づくりを行い、充実した生涯学習環境を整備し、地域課題の解決や生きがいづくりを支援します。

### 主な取り組み内容

- ・ おはなし会の開催
- ・ 読書振興事業の実施
- ・ 図書館利用の促進

### めざす姿

市民1人あたりの貸し出し冊数（市調査）

現状 (H27)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
14.4 冊					14.5 冊					14.7 冊

### 関連個別計画

教育大綱

### 実行部門

教育総務部

連携施策

P.4-8,9 地域社会

第8回たかしま子ども美術展「みらいのたかしま～わたしがおとなになったとき」市長賞受賞作品



「おともだちといっしょ うれしいな」 静里なのはな園 5歳児／平井結月さん